

# KOINEGAU?

「希う？」

藤沢今昔  
まちなかアート  
めぐり 2024

10月 26,27,  
11月 2,3,4,9,10,16,17日

(土,日,祝,9日間)

10:30-16:00

(パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)

神奈川文化プログラム



かながわ  
県民文化祭

「希う？」 KOINEGAU?

2024年、第15回目となる藤沢今昔・まちなかアートめぐりは5年ぶりに海外アーティストを招致して8人と1ユニットで開催します。また8年ぶりに展示活用させていただく歴史的建造物もあります。ぜひご来訪ください。

人が「希う」ことが明智や平和につながるだけでなく、対立と分断をももたらす現実。さりどて諦めたり、放心したりしてばかりもいられない。ちょっとの迂回、遠まわりしての寄り道や、道草なんかを喰ったら、なにか少しでも栄(叡?)養をもらえないだろうか？

藤沢今昔・まちなかアート実行委員会

「藤沢今昔・まちなかアートめぐり」のアーティストおよび関係者の皆様へ

藤沢のまちなかアートプロジェクトに再び招待していただき、心から感謝申し上げます。この素晴らしい取組みへの参加が4回目となることを本当に光栄に思います。これまでの経験は、創造的な充実だけでなく、主催チームおよび参加アーティストとの素晴らしい関係を強化することにもなりました。藤沢は私にとって特別な場所であり、今年のプロジェクトに貢献する機会に高揚を覚えます。コラボレーションとアートへの情熱の共有は常に刺激的であり、また一緒に意味のあるものを作り上げることを楽しみにしています。私が今年制作する作品は、世界の多くの地域で暴力が蔓延しているこの困難な時代に、人々の間に平和と協力を促進することを目的としています。藤沢まちなかアートめぐりの訪問者に、小さな布を大きな網に織り込むことでこの作品に貢献していただくよう呼びかけます。迷彩ネットを作るのに使われるこの技法は、団結と希望を象徴しています。作品のタイトルは「永遠の青空」で、希望の儀式として機能します。今年プロジェクトに参加することで、ラトビアと日本の交流がさらに強化され、将来の共同クリエイティブプロジェクトが発展することを願っています。引き続きご信頼とご支援をいただき、ありがとうございます。藤沢での次のクリエイティブな旅を心待ちにしています！

ラウラ・フェルデルガ

ラトビア、リガ出身のアーティスト

Dear Artists and Organizers of the Fujisawa City "Machi-naka" Art Trail,

I am writing to express my heartfelt gratitude for being invited once again to participate in the art project in Fujisawa City. It is truly an honor to be part of this remarkable initiative for the fourth time. The past experiences have not only been creatively fulfilling but have also strengthened the wonderful relationship I share with the organizing team and participating artists.

Fujisawa holds a special place in my heart, and I am genuinely excited about the opportunity to contribute to this year's project. The collaboration and shared passion for art have always been inspiring, and I look forward to creating something meaningful together once again. The work I will be creating this year is dedicated to fostering peace and collaboration among people during these troubled times, when many parts of the world are suffering from violence. I will invite visitors of the Fujisawa City "Machi-naka" Art Trail to contribute to this artwork by weaving small pieces of fabric into a large net. This technique, used for making camouflage nets, symbolizes unity and hope. The title of the work is "Eternal Blue Sky," and it serves as a ritual of hope.

My hope is that by participating in this year's project, we will continue to strengthen the exchange between Latvia and Japan and develop future collaborative creative projects.

Thank you for your continued trust and support. I am eagerly anticipating our next creative journey in Fujisawa!

Warm regards,

Laura Feldberga  
Artist from Riga, Latvia

主催：藤沢今昔まちなかアート実行委員会

共催：公益社団法人藤沢市観光協会、湘南藤沢文化ネットワーク

後援：駐日ラトビア共和国大使館、藤沢市、藤沢市教育委員会、藤沢商工会議所、神奈川新聞社

助成：公益財団法人藤沢市みらい創造財団

神奈川県「神奈川県文化芸術活動団体事業補助金対象事業」

協賛：湘南教育文化研究所、トキ・アートスペース、株式会社ソフトマシーン、株式会社福田屋、関次商店パンの蔵 風土、HOME FUJISAWA

協力：東海大学建築都市学部建築学科 小沢朝江研究室、NPO法人藤沢グリーンスタッフの会、Light Brothers、他

会期：10月26,27, 11月2,3,4,9,10,16,17日 (土,日,祝,9日間) 10時30分～16時 (パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)

参加作家/会場

ASADA、石黒和夫、坪井美保/旧鎌田商店

武井隼人/関次商店パンの蔵 風土

伊東直昭、オノ・ヨシヒロ/旧稲元屋

Laura Feldberga (ラウラ・フェルデルガ / ラトビアから招聘) 佐々木薫/旧桔梗屋

anoxia/藤沢市ふじさわ宿交流館

関連事業：

anoxia

即興音楽ワークショップ・ライブ

10月27日(日)、11月10日(日)


10:00~12:00 即興音楽ワークショップ

14:00~ Yuki Kaneko + Hamming Code(カトシュ・加藤裕士) ほか ライブ


※新型コロナウイルス感染の状況により予定を変更、中止する場合がございます。最新情報はSNSをご確認ください。



Webサイト

HOME FUJISAWA とは「藤沢宿をもっと面白くしたい!」という思いで集まった、創造的でローカルなチームです。




パンの蔵 風土 (関次商店)

営業時間 8:00~15:00 [売り切れ次第閉店]

定休日 日曜・月曜・火曜

TEL 090-2147-6314

創業明治三十年 節句人形問屋



福田屋人形店

藤沢本店 藤沢市本町 1-3-29

TEL 0466-23-3131

ホームページ www.e-fukudaya.co.jp



TOKI Art Space

トキ・アートスペース

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-42-5 サイオンビル1F

TEL/FAX 03-3479-0332 <http://tokiart.life.coocan.jp/>

12:00-19:00 (最終日17:00) 水曜休廊



ソフトマシーン美術館

[www.smmdw.co.jp](http://www.smmdw.co.jp)

ASADA



《藤沢で泳ぐ》  
(昨年度インスタレーション作品の部分)

今年も泳ごうか?変な生き物と過ごそうか?  
龍でも探そうか?鎧を身につけて戦おうか?  
藤沢では沢山やる事がある!

石黒和夫  
Ishikuro Kazuo



《塔人間はナマケモノ?》

今年で3回目の参加となります。  
今回もとても魅力的なスペースを使わせて  
頂く事になり、とても楽しみです。

坪井美保  
Tsuboi Miho



《その森のむこう》

ことばによらない空間との対話。  
そこに居ること。そこに存在する空気。  
空間とのせめぎあい。  
ゆるぎない何かを求めて創る。旅する。

武井隼人  
Takei Hayato



《柳愁》  
photo:Yuzawa Ayuta

練り歩くことで見えてくることもある。自転車  
でも車でも見つけることのできないもの  
を見つけ形に起こせたらと思う。この街に  
佇む者として。

伊東直昭  
Ito Naoki



《袖奴等(かむやつら)「烽火のような」》

互いの正義の基、いがみ合うのなら、アートは  
その「善悪の彼岸」にあって、翻弄される  
その他にの別の居場所であつたらいい。  
寄り道、道草、迂回できることは大切。  
カミサマも八百万くらいでいい。

オノ・ヨシヒロ  
Ono Yoshhiro



《'06 Work No.1》

今回の展覧会のタイトルは「絵に描いた  
茶の湯」です。建築物との対話から始まり、  
そこからのインスピレーションや感情を  
交錯させて「かたち」していきます。

ラウラ・フェルデルガ  
Laura Feldberga



《The Endless Blue Sky》

インスタレーション「永遠の青空」の  
アイデアは、激動の時代に生まれました。  
世界の多くの地域で戦争や暴力が起きて  
います。カモフラージュネット作りは、人々  
が集まって身を守るための物を作る活動  
です。青色は空と希望を象徴しています。  
誰でもネット編みに参加できます。

佐々木薫  
Sasaki Kaoru



《PINK BUD》

苦手な色との対話を続けている。苦手ゆえ  
彼ら(色)を遠ざけていたが、向き合ってみると、  
案外癖はあるが面白いヤツ(色)だったりする。  
日々小さな気づきの連続が楽しくて仕方が  
ない。

anoxia



《anoxia》

その場にいる全員で自由に音を出して  
遊ぶワークショップと、空間全体を楽器  
として響かせる演奏会を行います。  
現場の音を丁寧に聴き、自らも音を発し、  
変容し続ける場を凝視しましょう。



**① 旧鎌田商店**

**ASADA**  
Ishikuro Kazuo  
石黒和夫  
Tsuboi Miho  
坪井美保



**② 関次商店 パンの蔵・風土**

Takei Hayato  
武井隼人  
  
(パンの蔵のみ日月火を除く営業時間内)



**④ 旧桔梗屋**

Laura Feldberga  
ラウラ・フェルデベルガ  
Sasaki Kaoru  
佐々木薫  
レジデンス・アーティスト会場滞在日  
10月26,27日 11月2,3日



**③ 旧稲元屋呉服店**

Ito Naoaki  
伊東直昭  
Ono Yoshihiro  
オノ・ヨシヒロ



**⑤ ふじさわ宿交流館**

**anoxia**  
即興音楽ワークショップ・ライブ  
10月27日(日)、11月10日(日)  
10:00~12:00 即興音楽ワークショップ  
14:00~  
Yuki Kaneko + Hamming Code(カトシュ・加藤裕士) ほかライブ

**展示会場**

- 展示会場 (Yellow house icon)
- 歴史的建造物 (Blue square icon)
- 寺社仏閣・旧跡 (Brown square icon)
- 店舗・施設 (Black circle icon)